

荻町 学生の協力で壁画完成

叶野長者伝説 知って



農業用貯水槽の壁面に描いた叶野長者伝説をイメージした壁画の完成を喜ぶ地元住民と学生

竹田市荻町大平に建設中の大平ファームポンド（農業用貯水槽）の壁面に、地元から伝わる「叶野長者伝説」をイメージした壁画が完成し29日、除幕式があった。地元の住民らは、短期大学の学生と完成を喜んだ。



叶野長者伝説 平安時代に、長者の美しい娘と、若武者に変身した大明神の化身の大蛇の話。娘が若武者の正体を知ろうと、糸を付けた針を着物に刺したところ、大蛇の喉に刺さり死んだ。その後、娘は大蛇の子どもを産むが、若武者のことが忘れられず井戸に身を投げた。

壁画は縦2・7メートル、横18メートル。県営中山間地域総合整備事業として熊本県産山村の大蘇ダムからの水を大平地区の畑120畝に供給するために建設している貯水槽に描かれた。

地元住民が、施設の壁を生かし地域の活性化につなげようと、叶野長者伝説普及委員会（佐藤富土夫代表）をつくり、大学に絵の制作を依頼した。学生10人が、27日から現地で作業していた。

除幕式には、首藤勝次市長ら約50人が出席。伝説普及委員会の佐藤代表（69）は「伝説のイメージがよく伝わる絵になり、うれしい。道路からもよく見える。伝説や地域のことを知ってもらうことができそう」と話した。